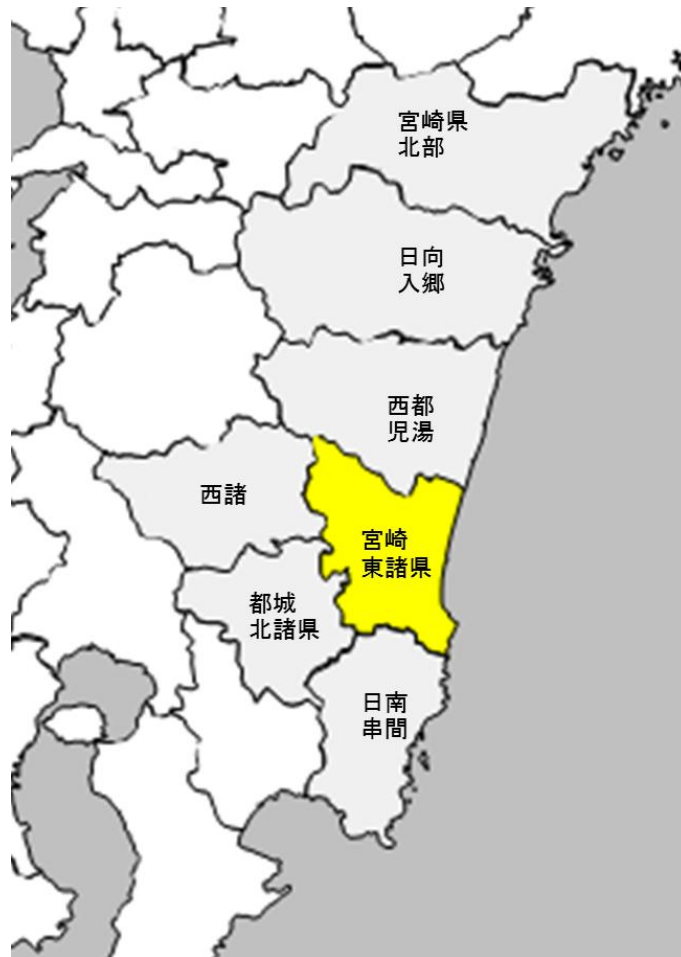


# 45. 宮崎県



## 4 5 宮崎県

## A. 医療提供体制の現状

宮崎県の特徴は、(1) 過疎地型の医療提供、全県的に多い療養、回復期、精神病床、(2) 宮崎への集中と周辺地域の宮崎依存である。

## (1) 過疎地型の医療提供、全県的に多い、療養、回復期、精神の病床

全県を通しての偏差値が病床数(61)、一般病床が(55)、病院勤務医(51)、全身麻酔数(47)、看護師数(63)と、病床と看護師は多く、病院勤務医が全国平均をやや上回るが、全身麻酔件数が全国平均を下回る、過疎地型の医療提供と言える。全県的に、療養、回復期、精神の病床が多い。

## (2) 宮崎への集中と周辺地域の宮崎依存

医学部のある宮崎東諸県に宮崎県の38%の人口が集中するが、病院勤務医の54%、全身麻酔の72%、総看護師数の39%が集中し、県全域から患者が集まってくる。都城北諸県、宮崎県北部(延岡)、日南串間は人口当たりの病院勤務医の偏差値が45以上、看護師数が62以上、全身麻酔数も40以上であり、一定水準以上の医療が提供されている。西諸、西都治湯、日向入郷は、医療提供が少なく、これらの地域は、宮崎への医療依存が特に強い。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## (宮崎東諸県)

宮崎東諸県には、宮崎大学をはじめ多くの基幹病院が集まり、日南串間、西諸、西都児湯、日向入郷などより多くの患者が集まる。この地域の偏差値は、病床数(56)、一般病床が(57)、病院勤務医(61)、全身麻酔数(61)、看護師数(65)と、充実しており、宮崎市内には現在でも、多少の過剰感がある。2010→35年の総医療需要が15%増、0-64歳が27%減、75歳以上が75%増を考えると、今後ますます急性期病床の過剰感が強まるので、宮崎で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、急性期病床の削減や高齢者向けの病床への転換、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められるだろう。

## (都城市北諸県、宮崎県北部)

宮崎県の宮崎に次ぎ第2の医療拠点である都城市北諸県と第3の医療拠点である宮崎北部(延岡)は、病床数と看護師数は多く、病院勤務医が全国平均をやや下回り、全身麻酔件数が全国平均を大きく下回る。2010→35年の医療の総需要が1%増と10%減、0-64歳が27%

減と 37%減、75 歳以上が 34%増と 20%増であり、一般病床の一部を療養、亜急性期、回復期への転換、地域内の連携を強化などが必要である。

#### (日南串間)

宮崎県の南部の海岸沿いに広がる日南串間の偏差値は、病床数(73)、一般病床が(64)、病院勤務医(51)、全身麻酔数(40)、看護師数(69)と、全身麻酔数を除けば過疎地としては高い医療資源レベルである。2010→35年の0-64歳の医療需要が42%減、75歳以上の医療需要14%増を考えると、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、宮崎からの支援と連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

#### (西諸)

宮崎県の中央部の山間地に広がる西諸(小林)の病床数が(63)、一般病床数が(52)、病院勤務医が(43)、全身麻酔数(32)、総看護師数(65)と、療養と回復期と精神の病床が多く、病床数と看護師数は全国平均を大きく超えるが、病院勤務医、全身麻酔数が少ない。この地域の患者は、宮崎市内に受診することが多い。2010→35年の医療の総需要が14%減、0-64歳が44%減、75歳以上が13%増であり、急性期病床の一部削減しつつ、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、宮崎からの支援と連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

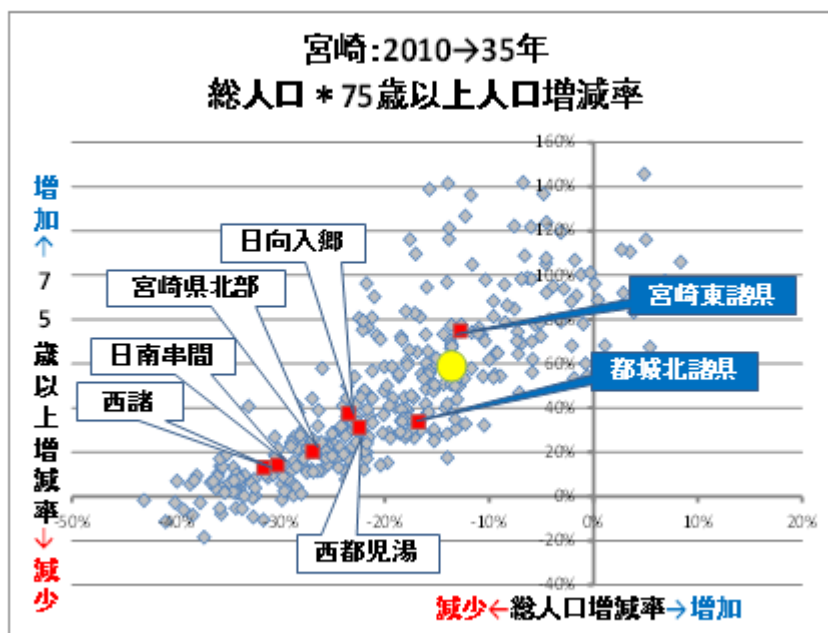
#### (西都児湯、日向入郷)

宮崎県の中央部の海沿いに広がる西都児湯(西都)と日向入郷(日向)は、病床数(57)と(64)、一般病床が(51)と(48)、病院勤務医(36)と(44)、全身麻酔数(32)と(33)、看護師数(45)と(65)と、病床数が多いが、病院勤務医と全身麻酔数が宮崎県でも少ない地域である。2010→35年の医療の総需要が4%減と2%減、0-64歳が33%減と37%減、75歳以上が31%増と38%増であり、0-64歳の大きな減少と、30%を超える75歳以上の需要の伸びに対処するため、一般病床の一部を更に療養、亜急性期、回復期への転換しつつ、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、宮崎からの支援と連携の強化を図り、地域の機能を維持することを目指すべきであろう。

表 45-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
宮崎県	1,135,233	36位	7,736	14位	146.7		26%	-20%	40%
宮崎東諸県	428,716	38%	871	11%	492.5	地方都市型	22%	-13%	75%
都城北諸県	194,402	17%	763	10%	254.7	地方都市型	26%	-17%	34%
宮崎県北部	153,795	14%	1,555	20%	98.9	過疎型	28%	-27%	20%
日南串間	78,142	7%	831	11%	94.0	過疎型	32%	-30%	14%
西諸	79,876	7%	931	12%	85.8	過疎型	32%	-32%	13%
西都児湯	107,003	9%	1,154	15%	92.7	過疎型	27%	-22%	31%
日向入郷	93,299	8%	1,630	21%	57.2	過疎型	27%	-23%	38%

図 45-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表45-1、表45-2、表45-5、図45-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図45-5)

表 45-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
宮崎県	20,864	1.2%	1,838	61	9,594	1.0%	845	55	16,486	1.2%	105	55
宮崎東諸県	6,974	33%	1,627	56	3,841	40%	896	57	5,579	34%	119	61
都城北諸県	3,822	18%	1,966	63	1,753	18%	902	58	2,675	16%	99	51
宮崎県北部	2,907	14%	1,890	62	1,158	12%	753	52	2,521	15%	104	54
日南串間	1,943	9%	2,486	73	828	9%	1,060	64	1,332	8%	93	49
西諸	1,547	7%	1,937	63	609	6%	762	52	1,336	8%	91	48
西都児湯	1,779	9%	1,663	57	788	8%	736	51	1,526	9%	97	51
日向入郷	1,892	9%	2,028	64	617	6%	661	48	1,517	9%	112	58

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 45-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

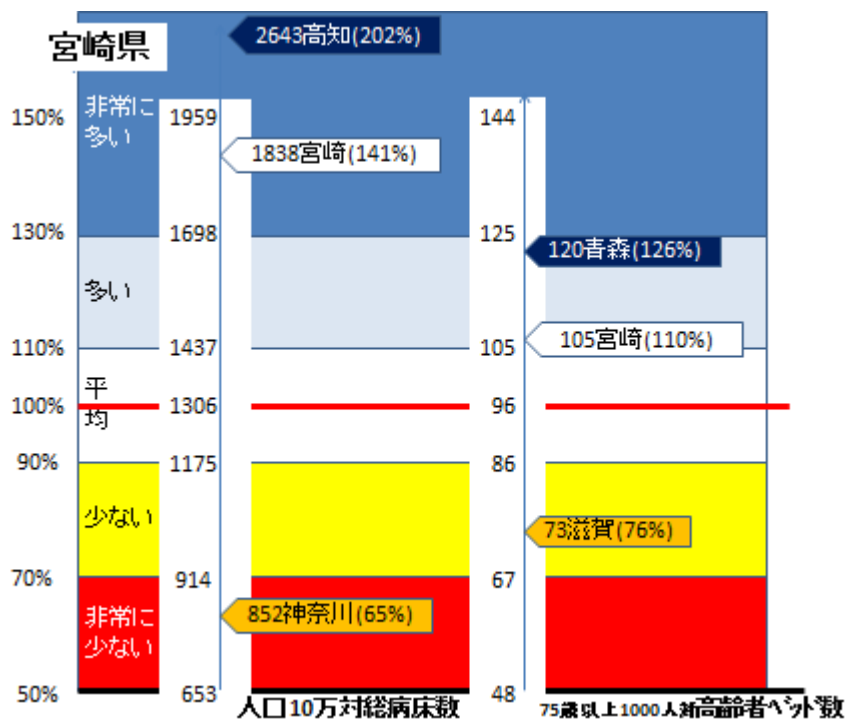


表 45-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
宮崎県	4,083	1.2%	360	55	763	1.2%	67	54	6,268	1.8%	552	63
宮崎東諸県	1,358	33%	317	53	256	34%	60	53	1,421	23%	331	53
都城北諸県	531	13%	273	51	92	12%	47	50	1,429	23%	735	72
宮崎県北部	632	15%	411	57	160	21%	104	63	953	15%	620	66
日南串間	391	10%	500	62	41	5%	52	51	674	11%	863	78
西諸	413	10%	517	62	74	10%	93	60	431	7%	540	63
西都児湯	390	10%	364	55	51	7%	48	50	546	9%	510	61
日向入郷	368	9%	394	56	89	12%	95	61	814	13%	872	78

表 45-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				総療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
宮崎県	2	1.0%	1.8	51	2	0.5%	1.8	47	903	1.0%	80	53
宮崎東諸県	1	50%	2.3	53	1	50%	2.3	48	355	39%	83	54
都城北諸県	0	0%	0	43	1	50%	5.1	56	165	18%	85	54
宮崎県北部	1	50%	6.5	70	0	0%	0	42	124	14%	81	53
日南串間	0	0%	0	43	0	0%	0	42	69	8%	89	55
西諸	0	0%	0	43	0	0%	0	42	65	7%	82	53
西都児湯	0	0%	0	43	0	0%	0	42	56	6%	53	46
日向入郷	0	0%	0	43	0	0%	0	42	68	8%	73	51

表 45-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
宮崎県	1,459	0.9%	129	51	10,861	1.3%	957	63	13,426	0.7%	1,183	47
宮崎東諸県	786	54%	183	61	4,221	39%	984	65	9,672	72%	2,256	61
都城北諸県	213	15%	110	48	2,055	19%	1,057	68	1,938	14%	997	45
宮崎県北部	157	11%	102	46	1,426	13%	927	62	1,294	10%	841	43
日南串間	98	7%	125	51	844	8%	1,081	69	458	3%	586	40
西諸	68	5%	85	43	788	7%	987	65	0	0%	0	32
西都児湯	50	3%	47	36	593	5%	555	45	0	0%	0	32
日向入郷	87	6%	93	44	933	9%	1,000	65	64	0%	69	33

図 45-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

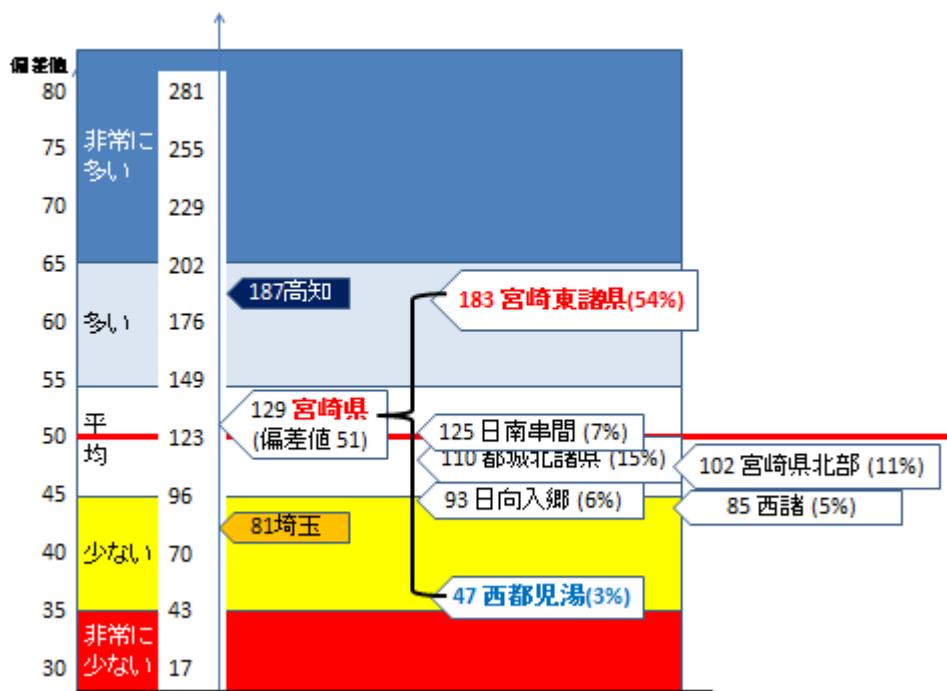


図 45-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

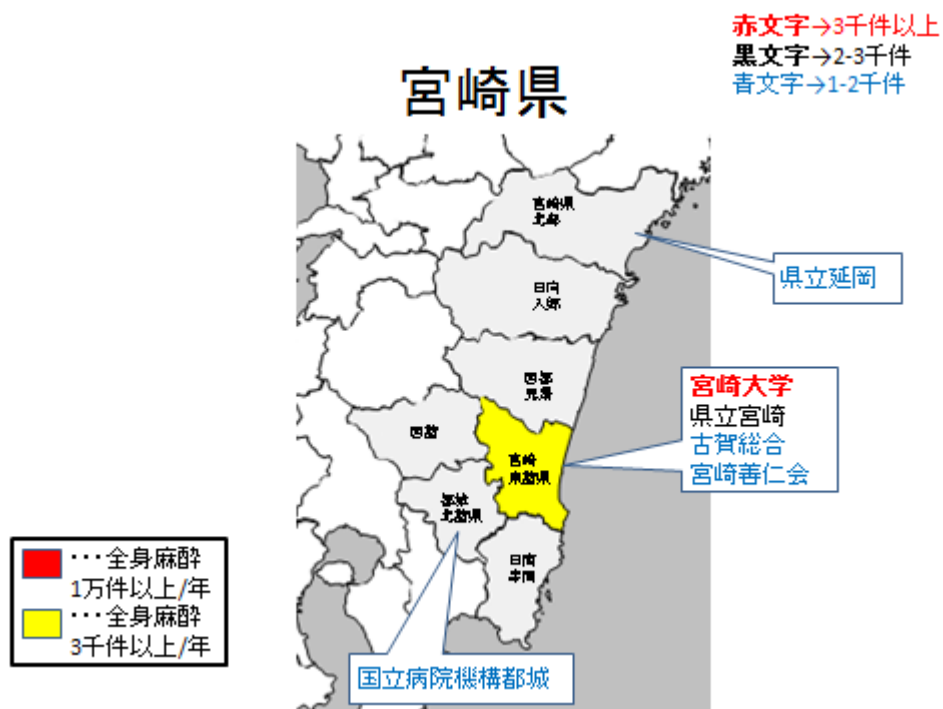


図 45-5 二次医療圏（流入出）

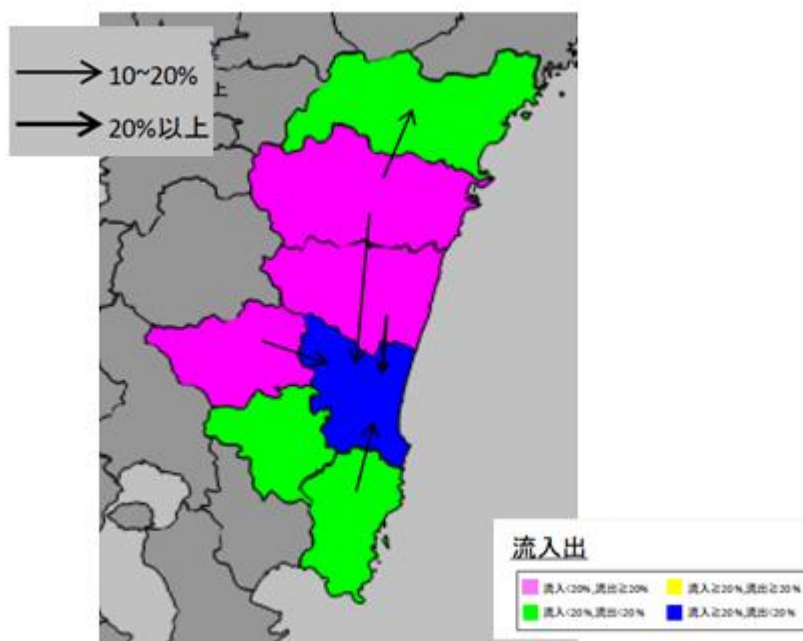


表 45-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
宮崎県	7,348	1.0%	47	47	3,015	1.0%	19	45	4,333	1.1%	28	50
宮崎東諸県	2,205	30%	47	47	997	33%	21	49	1,208	28%	26	48
都城北諸県	1,114	15%	41	42	424	14%	16	39	690	16%	25	47
宮崎県北部	1,160	16%	48	48	530	18%	22	50	630	15%	26	48
日南串間	773	11%	54	53	323	11%	23	51	450	10%	31	53
西諸	690	9%	47	47	280	9%	19	45	410	9%	28	50
西都児湯	751	10%	48	48	271	9%	17	42	480	11%	31	52
日向入郷	655	9%	48	49	190	6%	14	36	465	11%	34	56



表 45-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者住宅数合計	全国	75歳	偏差値	有料老人ホーム計	全国	75歳	偏差値	グループホーム	全国	75歳	偏差値
		シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り	
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
宮崎県	9,138	1.4%	58	57	4,046	1.7%	25.8	58	2,031	1.3%	13.0	53
宮崎東諸県	3,374	37%	72	65	1,716	42%	36.5	68	607	30%	12.9	53
都城北諸県	1,561	17%	57	57	476	12%	17.5	51	411	20%	15.1	57
宮崎県北部	1,361	15%	56	56	839	21%	34.7	67	242	12%	10.0	48
日南串間	559	6%	39	46	203	5%	14.2	48	66	3%	4.6	39
西諸	646	7%	44	49	160	4%	10.9	45	306	15%	20.8	66
西都児湯	775	8%	49	52	293	7%	18.7	52	222	11%	14.1	55
日向入郷	862	9%	64	60	359	9%	26.5	59	177	9%	13.1	53

表 45-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35	65-74歳	0-74歳	75歳以上	2010→35 総介護 需要
			0-64歳 医療需要	医療需要	医療需要 (再計)	医療需要	
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
宮崎県		1%	-32%	-13%	-25%	40%	34%
宮崎東諸県	2	15%	-27%	4%	-17%	75%	64%
都城北諸県	2	1%	-27%	-11%	-21%	34%	28%
宮崎県北部	3	-10%	-37%	-28%	-34%	20%	15%
日南串間	3	-13%	-42%	-33%	-38%	14%	9%
西諸	3	-14%	-44%	-29%	-38%	13%	9%
西都児湯	3	-4%	-33%	-22%	-29%	31%	25%
日向入郷	3	-2%	-37%	-18%	-30%	38%	31%

図 45-6 宮崎県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

